レジメンcode:	C90-17
適応がん種:	多発性骨髄腫
レジメン名:	DBd療法(皮下注)
間隔:	[*2] (1～8サイクル)　3週間 (9サイクル以降)4週間

備考

略名	抗がん剤(採用薬品名)	投与量	単位	投与法	投与日
DARA	ダラキューロ	1800	mg/body	皮下注[*1]	[*2]d1、8、15
BOR	ボルテゾミブ	1.3	mg/㎡	皮下注	[*2]d1、4、8、11
	レナデックス	[*3]20	mg	内服(朝食後)[*4]	d1、2、4、5 8、9、11、12、15

※ダラキューロ開始前に不規則抗体スクリーニング検査を含めた一般的な輸血前検査を実施すること※

[*1]ダラキューロ15mlを約3～5分かけて腹部へ皮下注射する。＜図1参照＞

[*2]ダラキューロは1～3サイクル(1～9週目)までは1週間間隔、4～8サイクル(10～24週目)までは3週間間隔、9サイクル(25週目)以降は4週間間隔になる。ボルテゾミブは9サイクル以降投与しない(表を参照)。

[*3]75歳を超える、過少体重(BMI:18.5kg/m^2未満)、コントロール不良の糖尿病又はステロイド療法に対する忍容性がない、若しくは有害事象を発現した患者にはd2,4,5,9,11,12のレナデックス内服を省略する事が可能である。

[*4]infusion reactionを軽減させるためにダラキューロ投与1時間前にレナデックス、カロナール、d-クロルフェニラミンを内服すること。

連日[*5]

1) バクタ　　1 錠/day

アシクロビル　200mg　1 錠/day

内服　朝食後

[*5]ニューモシスチス肺炎、帯状疱疹の発症予防のため上記薬剤の内服が推奨されている

次ページあり

【1～3サイクル（1～9週目）】

1~3サイクル	1サイクル21日間														
	day1	day2	~	day4	day5	~	day8	day9	~	day11	day12	~	day15	~	day21
ダラキューロ(皮下注)	⇓	／		／	／		⇓	／		／	／		⇓		
ボルテゾミブ(皮下注)	⇓	／		⇓	／		⇓	／		⇓	／		／		
レナデックス(経口)	○	○		○	○		○	○		○	○		○		

【内服】

day1、2、4、5、8、9、11、12、15[*4]

1）レナデックス　4mg　5 錠/day

内服　朝食後

*ダラキューロ投与日は投与1時間前に内服

day1、8、15

1）カロナール　500mg　2 錠/day

d-クロルフェニラミン　1 錠/day

内服　ダラキューロ投与1時間前

1サイクルday1のみ[*6]

1）モンテルカスト　10mg　1 錠/day

内服　ダラキューロ投与1時間前

[*6]1サイクルday1のみInfusion reactionを軽減させるためにモンテルカストを経口投与すること。

【皮下注射】day1、8、15

1）ダラキューロ　1800 mg/body 前投薬確認

皮下注　臍から約7.5cmの腹部皮下に本剤15mLを約3～5分かけて投与する。

〈所要時間　－ 〉

【皮下注射】day1、4、8、11

1）ボルテゾミブ　1.3 mg/㎡

生食　1.2ml

皮下注　1.2ml/1V　溶解後必要量調製

〈所要時間　－ 〉

＊ダラキューロ と ボルテゾミブ に ○分空けるなどの投与間隔の規定はない。

次ページあり

【4～8サイクル（10～24週目）】

4~8サイクル	1サイクル21日間														
	day1	day2	~	day4	day5	~	day8	day9	~	day11	day12		~		day21
ダラキューロ(皮下注)	⇓														
ボルテゾミブ(皮下注)	⇓			⇓			⇓			⇓					
レナデックス(経口)	○	○		○	○		○	○		○	○				

【内服】

day1、2、4、5、8、9、11、12 [*4]

1）レナデックス　4mg　5 錠/day

内服　朝食後

*ダラキューロ投与日は投与1時間前に内服

day1

1）カロナール　500mg　2 錠/day

d-クロルフェニラミン　1 錠/day

内服　ダラキューロ投与1時間前

【皮下注射】day1

1）ダラキューロ　1800 mg/body 前投薬確認

皮下注　臍から約7.5cmの腹部皮下に本剤15mLを約3～5分かけて投与する。

〈所要時間　－ 〉

【皮下注射】day1、4、8、11

1）ボルテゾミブ　1.3 mg/㎡

生食　1.2ml

皮下注　1.2ml/1V　溶解後必要量調製

〈所要時間　－ 〉

＊ダラキューロ と ボルテゾミブ に ○分空けるなどの投与間隔の規定はない。

次ページあり

【9サイクル以降（25週目～）】

9サイクル以降	1サイクル28日間		
	day1	～	day28
ダラキューロ(皮下注)	⇓		
レナデックス(経口)	○		

【内服】

day1[*4]

1）レナデックス　4mg　5 錠/day

内服　朝食後

*ダラキューロ投与日は投与1時間前に内服

day1

1）カロナール　500mg　2 錠/day

d-クロルフェニラミン　1 錠/day

内服　ダラキューロ投与1時間前

【皮下注射】day1

1）ダラキューロ　1800 mg/body 前投薬確認

皮下注　臍から約7.5cmの腹部皮下に本剤15mLを約3～5分かけて投与する。

〈所要時間　－ 〉

次ページあり

【文献】

CASTOR試験：NEJM 2016;375:754-66 (PMID:27557302)

【適応】

再発又は難治性の多発性骨髄腫

◎注意事項

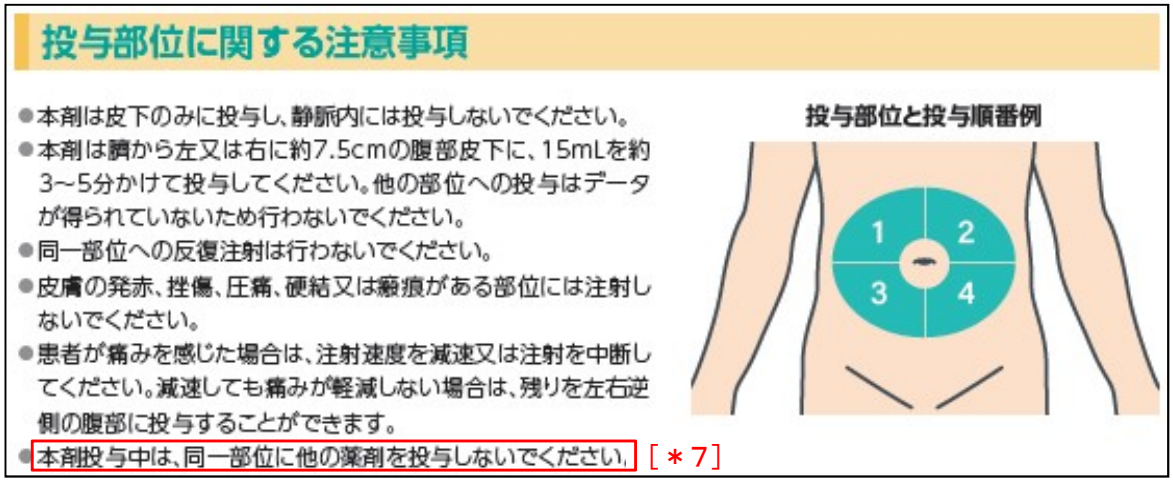
*帯状疱疹の予防が推奨されている。ニューモシスチス肺炎の予防を考慮することが必要とされている。

*ダラキューロは赤血球膜表面上に発現しているCD38と結合し、間接抗グロブリン(間接クームス)試験結果に干渉し、不規則抗体の検出に関して偽陽性になる可能性がある。（この干渉はダラキューロ治療中、及び最終投与から6ヶ月続く可能性がある。）

*ダラキューロは調製後7時間以内に投与終了すること。

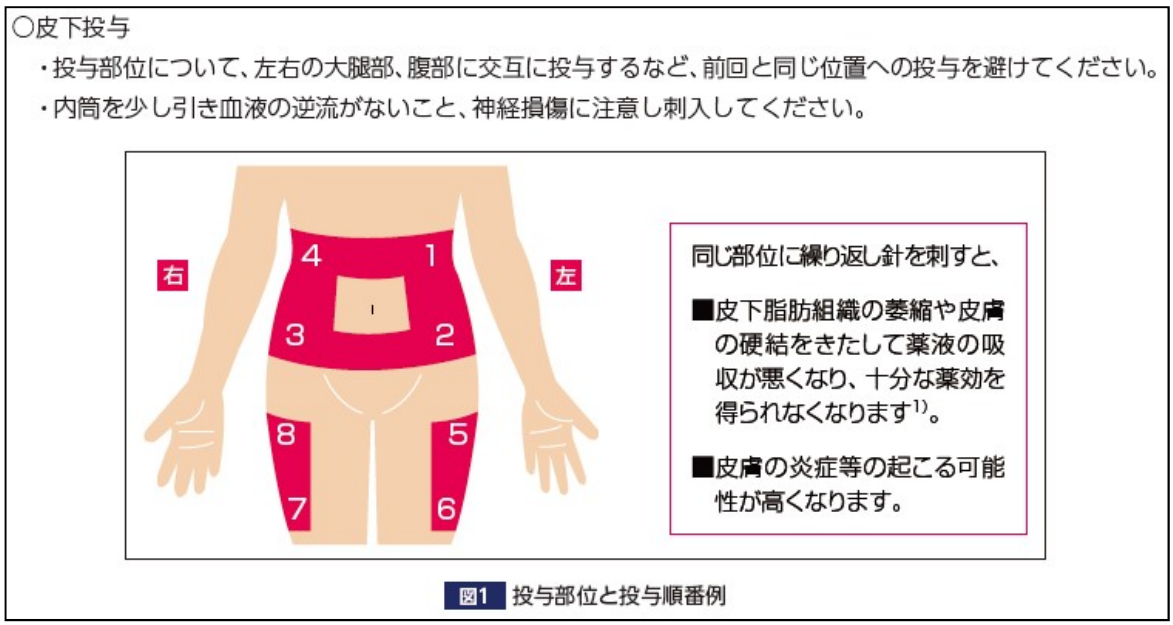
[*1] ＜図　投与部位に関する注意事項＞

〇ダラキューロ



[＊7]

[*7]同一部位に他の薬剤を投与しないとあるが、腹部の中で分けて（例：1と2など）投与することは可能。

*ダラキューロ　と　ボルテゾミブ　に　〇分空けるなどの投与間隔の規定はない。

〇ボルテゾミブ